

## ノーリツ鋼機株式会社

### すべての店頭でデジカメプリント 受付機にウイルス対策を実施 写真店、来店者へのサービスを向上

写真処理機器の世界的パイオニア企業であるノーリツ鋼機。同社商品の一つであるCT-RSは、写真店の店頭などでデジカメプリントを受け付ける機器である。このCT-RSの中身は、OSとソフトウェアで動く「パソコン」のため、来店者が挿し込むメモ리카ードなどからウイルス感染が発生しうる。万が一CT-RSへのウイルス感染が発生すれば、写真店の業務に支障が出るだけでなく最悪の場合、そのウイルスがCT-RSからその後の来店者のメモ리카ードに次々感染する「二次感染」も起きかねない。このような事態を未然に防ぐため、CT-RSにウイルス対策ソフトウェアを、出荷時から事前搭載することを決めた。現在、世界180カ国に出荷されているCT-RSには、一台一台に必ずESET NOD32アンチウイルス(以下NOD32)によるウイルス対策が施されている。

#### お客様が実現できたこと

- ✓ 全世界に出荷される自社のデジカメプリント店頭受付機に十分なウイルス対策を施すことができた。
- ✓ ヒューリスティック機能で、インターネットに接続されていない受付機でもウイルス対策が可能に。
- ✓ 直接顧客である写真店と、間接顧客である来店者双方のセキュリティを確保する体制が整った。

#### ▶お客様プロフィール

法人名：ノーリツ鋼機株式会社  
URL：http://www.noritsu.co.jp/

住所：和歌山県和歌山市梅原579-1

設立：1956年  
従業員数：980名  
事業内容：QSS(クイックサービスシステム)を中心とした写真処理機器、ならびに周辺機器の製造および販売

- 昭和26年創業のノーリツ鋼機は、写真処理機器の分野における世界的パイオニア企業である。銀塩写真の時代には、写真店が自らの店舗で写真の現像やプリントを行えるミニラボ(写真処理機器)を発表し、日本のみならず全世界で好評を獲得。ミニラボの商品名である「QSS(クイック・サービス・システム)」は、世界に通用するブランド名となった。
- デジタルカメラ時代になった近年も、デジタルプリント対応のミニラボを次々に発表し、好評を得ている。現在、ノーリツ鋼機の製品は世界180カ国以上で販売されており、その知名度は日本国内よりも、むしろ海外において高い。ノーリツ鋼機は、和歌山県が誇る「世界レベルの製造企業」である。



ノーリツ鋼機株式会社  
マーケティング本部 商品企画部  
アソシエイトマネージャー 珠家 克師氏

「ヒューリスティック検出能力の高い製品が必要」

「ウイルス対策を確実に行うためには、常に最新のウイルス定義データベースにアップデートすることが重要です。しかし店頭受付機の多くはインターネットに接続されておらず、リアルタイムのアップデートは困難です。このような環境の中で、最新のウイルスに対応しようとするならば、ウイルス定義データベースに頼らずウイルスが検出できる、ヒューリスティック検出能力の高い製品が必要です。

NOD32は、VirusBulletinなど第三者機関の調査においても、ヒューリスティック検出能力の優秀性が証明されており、安心して導入できる製品でした」

## お客様のご要望

- ▶ デジカメ写真プリント受付機からのウイルスの二次感染を防ぎたい。
- ▶ ウイルス定義データベースのアップデートに依存せずウイルスを発見できるソフトを導入したい。
- ▶ メーカーとして写真店や来店者に安心して製品を使っただけできるよう、セキュリティ体制を整えたい。

### 導入前の課題と背景 店頭受付機のセキュリティ確保

NOD32を出荷時搭載している「写真プリント店頭受付機」とは、具体的にどのような機器ですか。

「写真プリント店頭受付機（以下 店頭受付機）とは、写真店の店頭などに置いてあるデジカメ画像のプリントを受け付ける機器のことです。店頭受付機に持参したメモリカードなどを挿し込んでプリント注文したい画像をタッチパネルで指定すれば、その場で指定した画像の写真プリントを受け取れます」

店頭受付機に、ウイルス対策ソフトを導入した理由をお聞かせください。

「店頭受付機は『Windowsで動作するパソコン』なのでウイルスに感染する可能性があります。ウイルス感染の経路として最も可能性が高いのが、来店者が持ち込むデジカメのメモリカードなどの外部媒体です。メモリカードを挿した瞬間に起動するウイルスであれば、店頭受付機のOSに感染しその結果、店頭受付機の動作が不安定になり写真店業務がストップします。

また、それ以上に恐ろしいのが、店頭受付機から、その後に挿し込まれるメモリカードへ次々にウイルスが感染してしまう『二次感染』です。二次感染が大規模に発生した場合、店頭受付機を置いている写真店の信用失墜をも生じかねません。

これまでノーリツ鋼機では、店頭受付機のウイルス対策については推奨ウイルス対策ソフトを提示するだけでした。しかし、社内で討議した結果2009年3月にウイルス対策ソフトウェアを搭載した店頭受付機CT-RSの出荷が始まりました」

### 導入の必然性 ウイルス感染の確実な防御

CT-RSに搭載するウイルス対策ソフトを選定するにあたり、何を要件としましたか。

「CT-RSに搭載するウイルス対策製品には、第一に『端末本体の動作スピードに影響を与えないこと』を求めました。ウイルス対策を施したために、写真プリント受付ソフトウェアの動作が遅くなったのでは本末転倒だからです。第二に『ヒューリスティック機能が優れていること』も重要でした。多くの店頭受付機は、インターネットに接続されていません。この場合ウイルス定義データベースのアップデートは、CDによる定期配布を通じて行うこととなりますが、それではアップデートの間隔が開くので、最新のウイルスに対応できない恐れがあります。この問題に対処するには、ウイルス定義データベースに頼らずにウイルスを発見できる『ヒューリスティック機能』に優れた製品を選ぶべきだと考えました。第三の要件は『設定の柔軟性』。店頭受付機においては、ウイルスが発見された場合でも発見のメッセージは画面に表示させず、来店者と写真店の混乱を最小限にしたいと考えそのような設定が柔軟に施せる仕様の製品を求めました。第四の要件として『安定性』。店頭受付機のアプリケーションは定期的にバージョンアップします。そのため、安定性が高く軽い製品を求めました。第五の要件として『ワールドワイドでの対応能力』。CT-RSは、30カ国以上の言語に対応しており、世界180カ国以上に出荷されます。搭載するウイルス対策ソフトウェアにも世界規模での対応力が求められます。そして第六の要件として『ライセンス体系や価格がリーズナブルであること』も求めました」



NOD32を出荷時搭載している  
店頭受付機 CT-RS

すでに市場に出回っている旧機種についても、サービスマン巡回時などの機会を利用してNOD32をインストールしています。ノーリツ鋼機の目標は、市場に出回っている自社の店頭受付機すべてにNOD32によるウイルス対策を施すことです。NOD32は、2009年3月に旧機種分と今後出荷予定分を追加発注しました。今後もライセンスを使い切る度に順次追加購入していきます」

## 成果

### 取り組みの成果

セキュリティにおいてやるべきことを果たす

今回の導入の総括をお聞かせください。

「NOD32は、当初期待していた仕様、要件はすべて満たして動作しています。その意味で100点の評価です。お客様（写真店）からのウイルスについてのお問い合わせは確実に減っています。メーカーとして『セキュリティにおいてやるべきこと』をまずは果たせたかなという実感があります。

NOD32は特に『動作の軽さ（安定性）』、『ヒューリスティックによるウイルス検出能力』、『ライセンス体系や価格のリーズナブルさ』などの点で優れていました。特にライセンス体系においては、『5年間、更新の手続きなしで使用し続けられる』など、柔軟に対応してただけました。出荷時搭載の形で使用する場合、1年ごとに更新手続きすることは運用上、困難なのでありがたい対応です」

## 将来

### 将来の展望

現場もメーカーもお互い進化していく

将来の展望をお聞かせください。

「今回、NOD32をCT-RSに出荷時搭載したことで、ノーリツ鋼機が出荷する製品に対しメーカーとしてなすべきセキュリティ措置を施すことができたことと認識しております。キヤノンには現在、ノーリツ鋼機との間に『連絡ホットライン』にあたるサポート体制を提供いただいています。今後はこのホットラインを活用して、ノーリツ鋼機は現場の情報をキヤノンに確実に伝え、キヤノンはその情報を元にNOD32を進化させる、そのような善循環を作っていきたいと考えています。今後ともお互いに進化していきたいです」

## 工夫

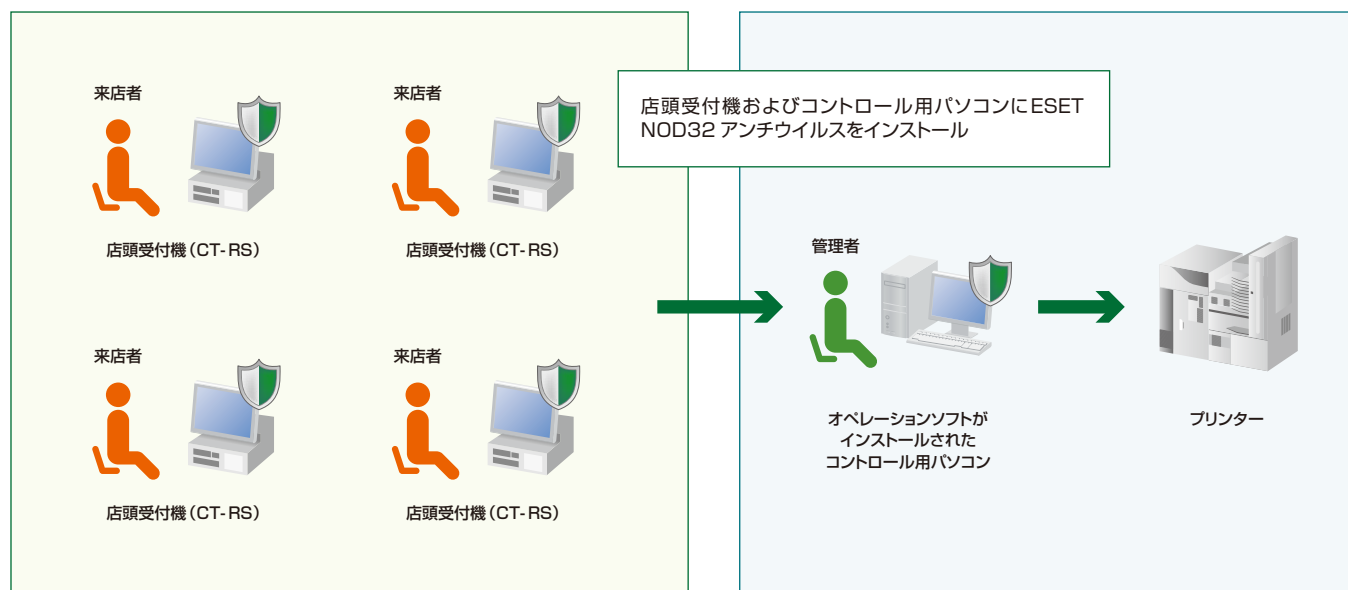
### 運用の工夫

店頭受付機 CT-RS すべてに NOD32 を標準搭載

現在、NOD32をどう活用していますか。

「ノーリツ鋼機は、NOD32を弊社の店頭受付機 CT-RS およびデジタルプリント対応ミニラボの制御機器に出荷時から搭載しています。今後、国内および世界に向けて出荷するCT-RSには必ずNOD32を搭載します。

## お客様の活用イメージ



### 出荷時から搭載し、写真店および来店者へ安心・安全を

インターネットに接続されていない写真プリント店頭受付機（以下 店頭受付機）でもウイルス定義データベースに頼らず最新のウイルスが検出できるヒューリスティック検出能力の高い製品が必要でした。また世界180カ国以上に出荷されるため、世界規模で対応できるウイルス対策ソフトでなければなりません。来店者が持ち込むデジタルカメラのメモリカードなど外部媒体から、店頭受付機がウイルス感染する確率はとても高く、その後の「二次感染」にもつながる可能性があり、設置している写真店の信用失墜も生じかねません。「ESET NOD32アンチウイルス」を出荷時から製品に搭載することにより、第一に写真店および来店者の安心・安全につながり、第二に製品のセールスポイントにもつながりました。

### ESET NOD32アンチウイルス（イーセット エヌオーディー32アンチウイルス）

権威ある国際機関から数多くの受賞実績があるウイルス対策ソフトです。ThreatSenseテクノロジーにて効率的に検出を行い、電子メールやインターネット上の脅威にさらされる脆弱な状態を最小限に抑えます。新種や亜種のウイルスに対しては、遺伝子技術を応用したアドバンスドヒューリスティック機能を用い、既知のウイルスに対する防御はウイルス定義データ（シグネチャ）にて行います。また、リムーバブルメディアのアクセス制御機能など、さまざまな保護機能も搭載しています。その他、CDやUSBメモリからブート起動を行い、ウイルスの検査や駆除を行えます。万が一コンピューターがウイルス被害にあった場合でも、レスキューCDを用いてウイルス駆除が容易に行え、安心してお使いいただけます。（開発元：ESET, spol. s.r.o.）



セキュリティソリューション ホームページ

<http://canon-its.jp/>

キヤノンITソリューションズ株式会社 セキュリティソリューション事業部  
〒108-0073 東京都港区三田3丁目11番28号 TEL (03) 5730-7198 FAX (03) 5730-7122

●ESET, NOD32, ThreatSenseは、ESET, LLCならびにESET, spol. s.r.o.の登録商標です。  
●Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。  
●その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。

**Canon** キヤノン ITソリューションズ株式会社